健康経営レポート

2025–2026

飯田グループホールディングス

株式会社 飯田産業

トップメッセージ

当社の経営方針である「より良質で安価な住宅を供給して社会に貢献する」の実現には、事業を支える従業員一人ひとりが心身ともに健康で、安心して能力を発揮できる職場づくりが不可欠であると考えています。

また、健康な従業員が長く働き続けることにより、一人あたり・時間あたりの生産性が向上すると考えています。当社の経営方針に掲げる「より良質で安価な住宅」は、生産性の高い組織によって実現できるものと考えています。

経営方針の実現に向け、健康経営の目標は「従業員の心身の健康の向上、従業員一人あたり・時間あたりの生産性向上」としています。

健康経営の目標の達成状況を確認する指標（KGI）として「未病の改善」を設定し、健康課題に対する施策の進捗を確認する指標（KPI）として「喫煙率」（卒煙）を設定しています。これらのKGI・KPIと従業員パフォーマンス指標を継続的に測定しながら、PDCAサイクルを通じて改善を図ります。

当社では、健康経営推進の担当役員を任命し、人事部長を推進委員長として、全事業所が参加する健康経営推進委員会を組織しています。健康経営に関する施策の推進・意見交換などは委員会を通じて行われています。健康経営の推進状況は、人事部長から取締役会・経営会議にて報告等がなされ、経営でも議論を行っています。

経営トップとして、当社の健康経営について、従業員とともに取組を行い、従業員の心身の健康の向上、従業員一人あたり・時間あたりの生産性向上を実現し、「より良質で安価な住宅を供給して社会に貢献する」という当社の創業精神につながる好循環を実現したいと考えます。

代表取締役　築地　重彦

1．当社の健康経営方針と目標

【推進方針】

① 従業員の心身の健康を積極的に支援します。

② 「未病の改善」の概念を積極的に取り入れ、生涯にわたる健康を維持する取り組みを推進します。

③ 従業員が挑戦でき、働き甲斐のある、生き生きとした魅力ある職場を目指します。

【健康経営の目標】

従業員の心身の健康の向上、従業員一人あたり・時間あたりの生産性向上

２． 健康課題と戦略マップ

当社では、健康診断の受診率は 100%ですが、健康診断結果を踏まえた要精密検査以上の従業員のフォロー体制に改善の余地があり、精密検査の実施、医療機関の受診・治療につながっていないため、未病（病気になる前の状態）の改善への取り組みを強化することが課題と認識しています。

直近 3 年度の退職者分析では、健康上の理由による退職者が 59 人発生し、勤続 10 年以上の退職者では健康上の理由による退職者が 21.2%を占めました。

なお、59 人は直近 3 年度における健康上の理由による退職者の合計人数です。21.2%は、同期間に勤続 10 年以上で退職した従業員のうち、健康上の理由による退職者が占める割合です。

健康上の理由による離職を減らし、長く安心して働ける環境をつくることは、人的資本と生産性の維持・向上に直結するものと考えます。

また、喫煙率が高い水準にあることも未病の改善の観点で取り組みを強化すべき課題と認識しています。生活習慣病リスクと受動喫煙の低減に向けて卒煙施策を強化しています。

これらを踏まえた健康経営戦略マップは、別紙 1 のとおりです。

健康経営戦略マップでは、健康経営の推進方針や健康経営の目標、KGI に対して、推進を予定している施策と KPI とのつながりを可視化し、各施策が従業員の心身の健康の向上、従業員一人あたり・時間あたりの生産性向上、未病の改善へどのようにつながるかを示します。

３．推進体制

当社では、健康経営推進の最高責任者を代表取締役社長とし、最高責任者の直下に担当役員を配置しています。

全事業場にて健康経営推進委員を任命し、本社の健康経営推進委員会事務局（推進委員長＝人事部長）を中心に、社外の専門家（産業医等）とも連携の上、健康経営推進委員会を組織・運営しています。

また、健康保険組合とも、健康課題の共有、中長期方針、施策の役割分担、効果的な実施方法などについて協議を実施しています。

健康経営の推進状況につきましては、健康経営推進委員長である人事部長から取締役会や経営会議へ報告等を行い、経営と従業員が一体となった推進体制を構築しています。

4．主要指標（2025 年度）

項目	2025 年度※1	2024 年度
定期健康診断受診率	100%	100%
内：生活習慣病等の高リスク者割合	14.1%	－
ストレスチェック受検率	100%	100%
喫煙率	33.8%	35.1%
従業員 1 人あたりの時間外労働時間／月	15.4 時間	14.5 時間
平均勤続年数※2	7.4 年	7.1 年
アブセンティーイズム※3	3.1 日	－
プレゼンティーイズム損失率※4	14.0%	－
ワーク・エンゲイジメント※5	2.5 点／4 点	－

※1　当社では 2025 年度から健康経営を経営戦略に位置付けて取り組み始めたため、2024 年度の指標を開示できない項目があります。

※2　平均勤続年数は、正社員の平均勤続年数です。臨時従業員・受入出向者等を含んでいません。

※3　アブセンティーイズムは病気による休暇取得（遅刻早退を含む）の日数を従業員アンケートで聴取

※4　プレゼンティーイズム損失率は SPQ（Single-Item Presenteeism Question 東大 1 項目版）で算定

なお、※3 と※4 は 2026 年 9 月に調査実施　対象人数 1,556 名　回答率 100%

※5　ワーク・エンゲイジメントは、新職業性ストレス簡易調査票のワーク・エンゲイジメント 2 項目（Q79：活力、Q80：誇り）を用いて測定。各設問の 1～4 点を回答人数で加重平均し、2 項目の平均値を全従業員の実績値として算出（小数点以下 2 位を四捨五入）　2025 年実施時の対象人数　1,474 名　受検率 100%

5．2025 年度から現在までの主な取り組み

【未病の改善】

定期健康診断の結果に基づき、産業医が生活習慣病等について高リスクと判定した従業員は 14.1%（169 人）となりました。2025 年度はその中でも特にリスクが高いと判断された 29 人に対し産業医面談を実施し、医療機関受診・生活習慣の改善を指導いただきました。

【卒煙・受動喫煙対策】

経営メッセージを発信し、喫煙者・管理職向け教育を実施しました。

現在、全国の全事業場で敷地内全面禁煙を実施しています。

【ヘルスリテラシーの向上】

全従業員に対し、定期的に経営メッセージを発信しています。

全従業員に対し、健康経営 e ラーニングを実施し教育を行っています。

派遣社員・受入出向者等にも健康経営ｅラーニングを受講できる環境を提供しています。

【長時間労働者への対応】

時間外・休日労働が月 75 時間を超え、申し出た従業員に対し産業医面談を実施しています。

【取引先への健康経営の普及・支援】

「飯田産業グループ安全協力会 定時総会」にて、産業医による健康経営に関する講演を実施することで、健康経営の施策等について、ノウハウを提供しています。

６．効果検証と改善

①未病の改善に向けた取組

健康診断結果における高リスク従業員に対する産業医面談は、2025 年度は全従業員の健康診断データの提出を受けた後、産業医が分析の上、特にリスクが高いと判断した 29 人を対象として、対象者全員に会社指示で産業医面談を実施しました。その結果、対象者の多くが医療機関の受診・治療開始・生活習慣改善への取組みなどにつながりました。

併せて、対象者に勤怠上の変化が見られた際に、早期に就業上の配慮を行うことができた事例もあり、施策には一定の効果があったことを検証しています。

2026 年度は、前年度に分析を行い全体像がつかめていますので、産業医が健診結果を確認でき次第、月次で面談対象者に対し、面談の実施連絡をする運用へ改善を図っています。

②喫煙率低下（卒煙）に向けた取組

2025 年度は経営メッセージを発信の上、一定の周知期間を設けてから、2026 年度より敷地内全面禁煙を実施しました。

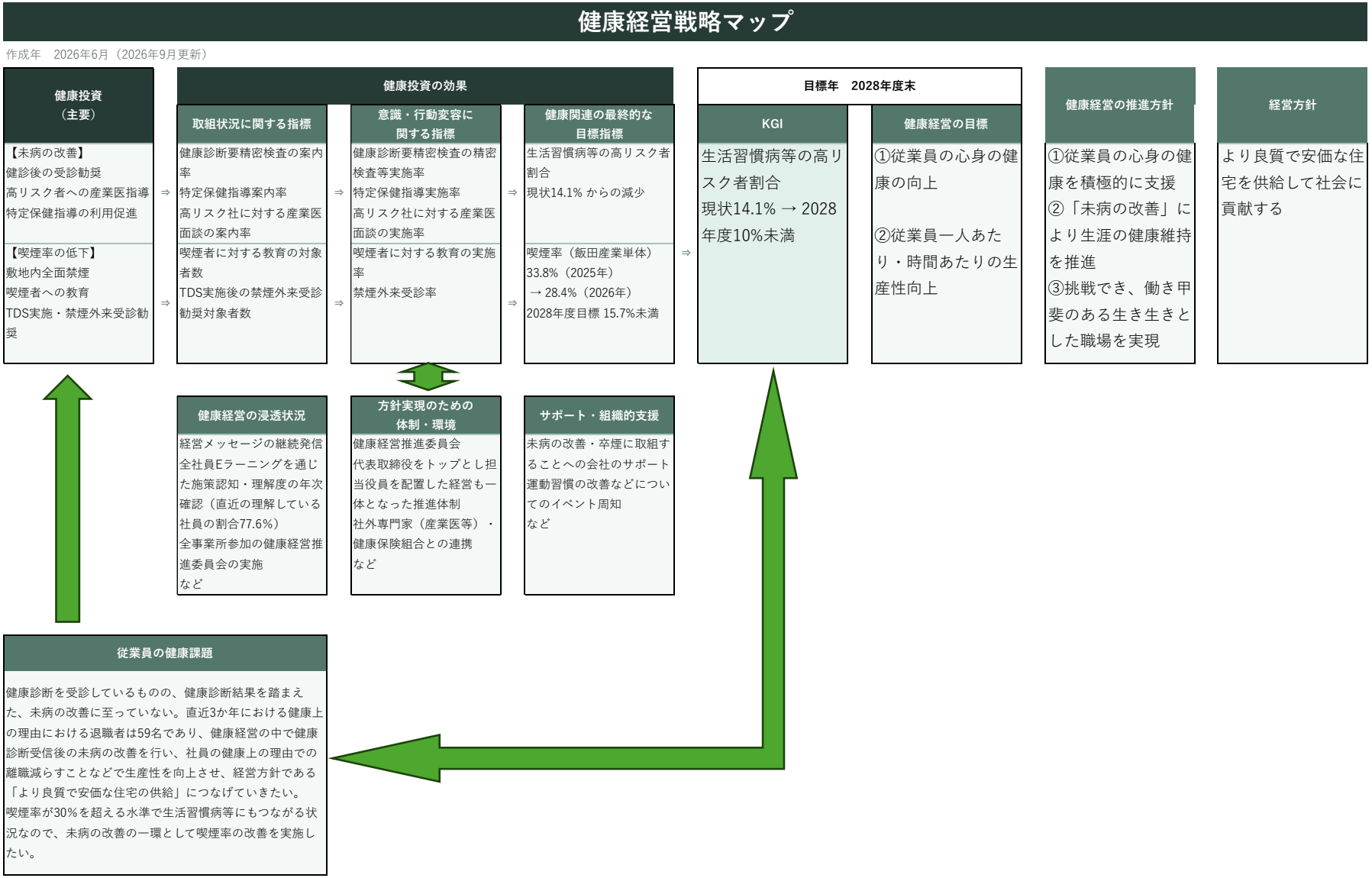
2026 年 5 月に実施した社内アンケートでは、喫煙率が 28.4%となり、2025 年度の 33.8%から低下傾向が確認されました。この結果から、喫煙率低下（卒煙）施策には一定の効果が表れていることを検証しています。

2026 年度は喫煙者に対して TDS ニコチン依存度テストを実施し、その結果を踏まえて禁煙外来の受診を勧奨する予定です。健康保険組合の支援対象者には同組合の禁煙外来を案内し、対象外の従業員にはグループで実施する禁煙外来を案内することで、喫煙率低下の施策も改善・拡大を図る所存です。

以上

2026 年 9 月

株式会社飯田産業

健康経営推進委員会　事務局作成

【別紙１：健康経営　戦略マップ】